

建築計画総論 Comprehensive Planning of Architecture

教員名	奥 俊信 (おく としのぶ)・横田隆司 (よこた たかし)・鈴木 毅 (すずき たけし)・小浦久子 (こうら ひさこ)・木多道宏 (きた みちひろ)							
教員連絡先 (研究室所在地・TEL)	吹田キャンパス S 1 棟 8 階 電話: 06-6879-7641							
E-MAIL アドレス	oku@arch.eng.osaka-u.ac.jp, yokota@arch.eng.osaka-u.ac.jp, t-suzuki@arch.eng.osaka-u.ac.jp, koura@arch.eng.osaka-u.ac.jp , kita@arch.eng.osaka-u.ac.jp,							
履修対象	建築工学コース (3 年次)							
単位	2	セメスター				1		
受講条件								
授業の教育目的・目標 他科目との関連	建築の計画と生産をとりまく、社会・経済・技術・制度、および建築基準法について理解する。							
学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H
	○		◎				○	
授業計画・概要	テーマ	概要						学習・教育目標
	建築企画 (1 回)	建築のプログラミング、事業計画など、建築企画に関する理論・方法論の知識を身に付ける (包括基礎 1 回)。						A C
	建築生産と社会 (1 回)	社会における建築プロジェクトの発注と生産の仕組み、また建築に関する職能と社会的役割と責任に関する基礎的知識を身に付ける (包括基礎 1 回)						A G C
	建築生産の特徴とプロセス (1 回)	建築に関する生産過程・技術的特徴・品質管理・品質保証等に関する生産論の特徴について、基礎的知識を身に付ける (包括基礎 1 回)。						G C
	建築生産の新しい動向 (1 回)	近年の新しい建築生産方式について、基礎的な知識を身に付ける。(包括基礎 1 回)						G C
	住宅生産 (1 回)	住宅に関する生産過程・供給の仕組み・住環境の形成について、基礎的知識を身に付ける (包括基礎 1 回)						G C
	建築・都市空間のサステナビリティ (1 回)	サステナビリティ (持続可能性) の観点から、建築や市街地環境を維持管理・継承・保全するための計画理論と技術について基礎的な知識を身に付ける。(包括基礎 1 回)						C G
	建築行政 (1 回)	建築行政の体系と法規の役割に関する基礎的な知識を身に付ける (包括基礎 1 回)						A C G
	建築基準法の単体規定と建築計画 (4 回)	建築基準法の用語の定義、耐火・防火、居室、階段、避難などについて専門的な知識を身につける (包括基礎 2 回、高度専門 2 回)						A C G
	建築基準法の集団規定と建築計画 (3 回)	道路と敷地・建築物、用途地域制による建築物の用途制限、建ぺい率、容積率、外壁の後退・壁面線の指定、高さ制限、斜線制限などについて専門的な知識を身につける (包括基礎 1 回、高度専門 2 回)						C G
	学期末試験 (1 回)							
	教科書	プリントを配布する。						
参考図書・文献等	日本建築学会「建築企画事典」彰国社、松村秀一ほか「建築生産」市ヶ谷出版社 宮武保義「建築生産論」丸善、住環境の計画編集委員会「住環境の計画 1～5」、彰国社 建築申請実務研究会編「建築申請 MEMO2008」新日本法規 「基本建築関係法令集[法令編] 平成 20 年版」霞ヶ関出版社							
成績評価方法・評価基準	A、C、Gとも、学期末試験で評価する (100%)。							
オフィスアワー	随時 e-mail にて対応							
コメント								